

## ニッセイ インターネットアンケート ～セカンドライフについて～

日本生命保険相互会社(社長:清水博)は、「ずっともっとサービス」のサンクスマイルメニューの一つとして、ホームページ(<https://www.nissay.co.jp>)内の「ご契約者さま専用サービス」にて、セカンドライフに関するアンケート調査を実施いたしました。

### 《アンケート概要》

- 実施期間：2020年8月1日(土)～8月14日(金)
- 実施方法：インターネットアンケート(「ずっともっとサービス」のサンクスマイルメニュー)
- 回答者数：7,543名(男性:4,045名、女性:3,498名)

＜年代別回答者数＞

[名]

年代							合計
	～20代	30代	40代	50代	60代	70代～	
男性	252	575	878	1,286	731	323	4,045
女性	266	522	725	1,001	616	368	3,498
合計	518	1,097	1,603	2,287	1,347	691	7,543
占率	6.9%	14.5%	21.3%	30.3%	17.9%	9.2%	100.0%

### 《アンケート結果のポイント》

#### ポイント①

質問 1～4

#### 【定年について】

- 60歳未満の方においては、半数以上がご自身の退職金や年金(公的および企業年金)の金額を把握していなかった。
- 全年代の64%の方が定年後も「仕事を続けたい」と回答した。
- 年齢が高い方ほど、「現在の仕事を続けたい」と回答した割合が高く、若い年代ほど、「働かず違うことをしたい」と回答した割合が高かった。
- 世帯年収が高い方ほど、「現在の仕事を続けたい」と回答した割合が高く、世帯年収が低い方ほど、「働かず違うことをしたい」と回答した割合が高かった。

#### ポイント②

質問 5～7

#### 【セカンドライフの予算について】

- 単身の場合は、ゆとりあるセカンドライフに必要な生活費の平均が約24.6万円となり、現在の生活費と比較して8.4万円増額となった。
- 夫婦の場合は、ゆとりあるセカンドライフに必要な生活費の平均が約28.8万円となり、現在の生活費と比較して4.8万円増額となった。
- 貯めておきたい金額の平均は、3,033万円となり、前年と比較して145万円増加した。

#### ポイント③

質問 8～11

#### 【セカンドライフに対する不安について】

- 全年代の66.9%の方がセカンドライフに不安があると回答した。また、定年に近づく年代ほど、不安を感じる方の割合が高かった。
- 新型コロナウイルス感染症をきっかけに、老後の備えとしてお金や健康面について考えたり、計画を見直した人は全体で1割程度となった。

### 質問1 【企業・団体にお勤めの方への質問】

定年まで勤めた場合のご自身の退職金や年金（公的および企業年金）の金額を把握していますか？（年代別回答者数：3,312名）（従業員規模別回答者数：3,260名）

- 60歳未満の方においては、半数以上が把握していなかった。
- 若い年代ほど、把握していない割合が高かった。
- 従業員規模が小さい会社にお勤めの方ほど、把握していない割合が高かった。

#### ■把握している割合<年代別>

	（%）	
	はい	いいえ
20代以下	16.6	83.4
30～39歳	23.8	76.2
40～49歳	30.6	69.4
50～59歳	49.0	51.0
60～69歳	73.5	26.5
70歳以上	60.9	39.1
全体	37.9	62.1

#### ■把握している割合<従業員規模別>

	（%）	
	はい	いいえ
50名未満	36.6	63.4
50～99名	31.3	68.7
100～299名	34.4	65.6
300～999名	36.6	63.4
1,000～4,999名	41.6	58.4
5,000～9,999名	47.8	52.2
10,000名以上	42.6	57.4
全体	38.0	62.0

#### <ニッセイ基礎研究所 生活研究部 主任研究員 井上 智紀いのうえ ともきのコメント>



50～59歳でも半数が退職金や年金額を把握できていないのは、退職金・年金額は定年が迫ってから通知されることが多いことや、企業年金制度の全部または一部を確定拠出型としているために定年を迎えるまで受給額が確定しないことなどによるものと思われます。

一方で、従業員規模が小さいほど把握していない傾向にあることは、中小・零細企業では退職金・年金制度がない企業が多いことや、勤続年数が短く多額の退職金を期待できない転職経験者が多いことなどが影響しているためと考えられます。

### 質問2 定年後のプランはどのようにお考えですか？（年代別回答者数：3,355名）（世帯年収別回答者数：2,045名）

- 全年代の64%の方が定年後も「仕事を続けたい」と回答した。
- 年齢が高い方ほど、「現在の仕事を続けたい」と回答した割合が高かった。
- 一方で、若い年代ほど、「働かず違うことをしたい」と回答した割合が高かった。

#### ■定年後のプラン<年代別>

	（%）		
	現在の仕事を続けたい	別の仕事をしたい	働かず違うことをしたい
20代以下	27.5	26.1	46.4
30～39歳	30.3	27.6	42.2
40～49歳	34.6	26.7	38.7
50～59歳	45.3	25.0	29.7
60～69歳	56.0	15.6	28.4
70歳以上	66.7	8.3	25.0
全体	38.7	25.3	36.0

64%の方が定年後も仕事を続けたいと回答

- 世帯年収が高い方ほど、「現在の仕事を続けたい」と回答した割合が高かった。
- 一方で、世帯年収が低い方ほど「働かず違うことをしたい」と回答した割合が高かった。

■定年後のプラン<世帯年収別>

	(%)		
	現在の仕事を続けたい	別の仕事をしたい	働かず違うことをしたい
300万円未満	29.8	21.1	49.1
300～500万円未満	33.7	30.1	36.2
500～700万円未満	37.3	28.1	34.6
700～1,000万円未満	42.4	24.6	33.0
1,000～1,500万円未満	39.5	23.3	37.2
1,500万円以上	38.0	23.0	39.0
全体	38.2	26.1	35.7

<ニッセイ基礎研究所 生活研究部 主任研究員 いのうえ ともき 井上 智紀のコメント>

年代により定年後のプランが異なり、高齢層ほど現在の仕事の継続を希望していることは、経済的な理由や仕事に生きがいを求めること、仕事が変わることによる不安や収入の減少を避ける意識が働くことなど、定年を間近に控える高齢層では仕事の継続希望の背景にさまざまな理由があることが影響しているものと思われます。世帯年収が高いほど現在の仕事の継続を希望していることも、同様の理由によるものではないでしょうか。

一方で若年層ほど「働かず違うことをしたい」という意向が高いことは、定年自体が遠い将来のことであるが故、経済的な豊かさ以外に生活の軸足をおいていたいという漠然とした希望を表したものであるように思われます。

質問3 【質問2で「現在の仕事を続けたい」「別の仕事をしたい」と回答した方への質問】  
何歳まで働き続けたいと思いますか？（回答者数：2,079名）

- 全年代の68.8%の方が65歳以降も働きたいと回答した。
- 「65～69歳」まで働き続けたいと回答した方が40%と最も多かった。

■何歳まで働きたいか

	(%)						
	全年代	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代～
60～64歳	31.2	32.7	30.3	31.6	34.5	16.3	0.0
65～69歳	40.0	42.5	38.1	39.3	39.9	49.7	0.0
70～74歳	17.1	16.3	17.6	16.5	15.6	26.1	22.2
75歳以上	11.7	8.5	14.1	12.7	10.0	7.8	77.8

68.8%

60代以下の全年代で「65～69歳」と回答した方が最も多かった

**質問4 【質問2で「現在の仕事を続けたい」「別の仕事をしたい」と回答した方への質問】  
働く理由は何ですか？（回答者数：2,075名）※複数回答可**

○定年後に働く理由として、「収入を得るため」と回答した方の割合が最も高かった。  
○70代以降の方は「収入を得るため」以外の回答が多かった。

**■働く理由**

	全年代	（%）					
		20代以下	30代	40代	50代	60代	70代～
収入を得るため	88.0	90.3	88.9	89.8	87.9	84.2	38.9
多くの人との出会いがあるため	17.7	14.3	17.8	14.4	19.6	21.1	22.2
自己成長のため	16.7	15.6	17.3	14.6	18.2	15.1	22.2
社会貢献のため	14.0	7.8	14.8	12.6	16.4	8.6	22.2
仕事を楽しいため	12.1	10.4	14.6	10.6	11.3	15.1	38.9
周囲の人も働いているため	5.3	3.2	6.2	5.4	4.9	7.2	0.0

**定年後に働く理由として、「収入を得るため」と回答した方の割合が最も高かった**

**定年を迎えた70代以降の方は、他の年代と比べて「収入を得るため」以外の回答が多かった**

**質問5 ゆとりあるセカンドライフに必要な生活費（1カ月あたり）はいくらくらいだと思いますか？  
（単身回答者数：2,059名）（夫婦回答者数：4,295名）**

○単身の場合は、ゆとりあるセカンドライフに必要な生活費の平均が約24.6万円となり、現在の生活費と比較して8.4万円増額となった。  
○夫婦の場合は、ゆとりあるセカンドライフに必要な生活費の平均が約28.8万円となり、現在の生活費と比較して4.8万円増額となった。

**■単身の場合**

	全年代	（%）					
		20代以下	30代	40代	50代	60代	70代～
20万円未満	31.7	30.0	32.3	34.6	32.5	23.7	34.4
20～25万円未満	27.4	26.1	27.2	28.5	28.5	26.8	24.2
25～30万円未満	18.7	20.5	19.2	16.8	18.8	21.4	14.8
30～35万円未満	12.8	14.7	12.3	11.9	11.9	13.8	14.8
35～40万円未満	3.0	2.6	3.5	2.8	2.5	3.6	4.7
40～50万円未満	4.6	4.2	3.5	4.2	4.0	8.5	5.5
50万円以上	1.8	2.0	2.1	1.3	1.8	2.2	1.6

  

平均金額（万円）	24.6	24.9	24.5	23.8	24.3	26.6	24.7
	+8.4	+10.9	+9.0	+7.6	+7.1	+9.3	+7.5
現在の生活費 平均金額（万円）	16.2	14.0	15.5	16.2	17.2	17.3	17.2

■夫婦の場合

(%)

	全年代						
	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代～	
20万円未満	15.8	27.0	21.9	19.9	14.1	9.4	14.1
20～25万円未満	20.1	21.3	23.6	22.6	20.9	14.9	16.8
25～30万円未満	24.6	24.6	21.0	23.4	26.3	25.6	24.5
30～35万円未満	20.0	12.3	20.2	17.2	18.5	26.0	21.7
35～40万円未満	8.0	6.6	5.2	7.1	9.1	9.0	8.9
40～50万円未満	8.5	4.9	6.1	7.2	7.9	12.4	11.0
50万円以上	2.8	3.3	2.0	2.7	3.2	2.6	3.1

平均金額 (万円)	28.8	26.3	26.9	27.8	29.0	30.8	29.9
現在の生活費	+4.8	+6.4	+5.3	+3.6	+3.5	+6.6	+7.7
平均金額 (万円)	24.0	19.9	21.6	24.2	25.5	24.2	22.2

<ニッセイ基礎研究所 生活研究部 主任研究員 いのうえ ともき 井上 智紀のコメント>

ゆとりあるセカンドライフに必要な生活費は、単身では60代を除く全ての年代で「20万円未満」が最も多く、夫婦の場合では40～50代、70代で「25～30万円未満」、60代で「30～35万円未満」が最も多くなりました。単身、夫婦ともに年代を問わず平均金額が現在の生活費よりも多くなっていることは、現在の生活には経済的なゆとりが乏しく、趣味や娯楽への支出を増やすなどセカンドライフに期待したいという意識の表れとなっているのではないのでしょうか。

質問6 セカンドライフをスタートするまでに、貯めておきたい金額はいくらくらいですか？

(回答者数：4,784名)

質問7 質問6の金額のうち、現時点でどれくらい達成できていますか？ (回答者数：4,754名)

- 貯めておきたい金額は、全年代で「1,000～3,000万円未満」と回答した方が最も多かった。
- 貯めておきたい金額の平均は、3,033万円となり、前年と比較して145万円増加した。
- 全年代の65.2%の方が目標額の5割を達成できていなかった。
- 50代の約9割、60代の約8割、70代の約7割の方は目標額を達成できていなかった。

■貯めておきたい金額

(%)

	全年代						
	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代～	
500万円未満	7.3	8.3	6.9	7.4	7.2	7.6	6.6
500～1,000万円未満	6.8	12.8	6.8	6.7	6.1	5.7	7.0
1,000～3,000万円未満	50.5	56.4	54.4	50.6	49.3	45.9	53.1
3,000～5,000万円未満	18.3	13.1	17.8	19.0	18.8	19.6	15.8
5,000万円以上	17.1	9.3	14.0	16.2	18.6	21.2	17.5
平均金額 (万円)	3,033	2,565	2,922	2,919	3,067	3,257	3,598
	+145	+225	+268	+192	▲66	+44	+889
【参考】							
2019年度平均金額 (万円)	2,888	2,340	2,654	2,727	3,133	3,213	2,709

■どれくらい達成できているか

(%)

	全年代						
	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代～	
まだ準備していない	9.3	13.9	13.8	10.6	7.5	5.5	6.7
10%未満	20.3	56.0	29.7	23.1	14.6	7.9	8.5
10～30%未満	21.8	23.9	34.9	26.7	19.3	10.1	9.4
30～50%未満	13.8	2.9	11.7	19.7	14.6	11.3	9.9
50～80%未満	18.6	2.3	7.8	13.8	26.5	25.6	21.1
80～100%未満	6.0	0.6	0.4	2.5	6.7	15.0	13.0
100%	10.2	0.3	1.7	3.6	10.8	24.7	31.4

全年代の65.2%の方が目標額の5割を達成できていなかった

50代の約9割、60代の約8割、70代の約7割の方は目標額を達成できていなかった

質問 8 ご自身のセカンドライフに不安はありますか？（回答者数：6,586名）

質問 9 【質問 8で「ある」と回答した方への質問】

セカンドライフで不安に感じていることは何ですか？（年代別回答者数：4,389名）※複数回答可

- 全年代の 66.9%の方がセカンドライフに不安があると回答した。
- 定年に近づく年代ほど、セカンドライフに不安を感じる方の割合が高かった。
- 「自身の健康・病気」「家族の健康・病気」など、健康面において不安と感じている方が最も多かった。

■ 不安を感じているか

(%)

	全年代	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代～
ある	66.9	54.5	65.0	73.5	71.8	62.4	51.1
ない	33.1	45.5	35.0	26.5	28.2	37.6	48.9

■ 不安に感じていること

(%)

順位	内容	全年代	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代～
			1	自身の健康・病気	80.4	66.0	74.2	78.6
2	生活費や医療費	56.5	58.9	63.5	62.6	58.2	44.3	32.2
3	家族の健康・病気	45.8	36.1	46.8	44.4	46.2	48.4	48.1
4	公的年金制度	32.7	40.2	38.3	33.9	33.5	26.4	18.5
5	親の介護	32.4	36.1	38.4	38.4	35.1	20.6	2.6
6	社会情勢・経済情勢の変化	26.4	33.2	26.7	26.2	27.0	24.0	22.3
7	配偶者の介護	13.2	9.1	13.8	11.3	13.5	15.4	16.3
8	子・孫の面倒	8.7	6.6	11.7	8.8	8.3	7.9	6.9
9	その他	3.3	4.6	3.0	3.6	3.5	2.7	2.1

質問 10 新型コロナウイルス感染症をきっかけに老後の備えとして、お金や健康面について考えたり、計画を見直しましたか？（年代別回答者数：6,613名）（都道府県別回答者数：6,613名）

質問 11 【質問 10 で「はい」と回答した方への質問】

具体的にどういったことを考えたり、計画を見直しましたか？（回答者数：292名）

- 新型コロナウイルス感染症をきっかけに、老後の備えとしてお金や健康面について考えたり、計画を見直した人は全体で1割程度となった。  
 ○都道府県別では、「はい」と回答した方の割合が最も高かったのが「沖縄県」となった。

■年代別

	(%)	
	はい	いいえ
20代以下	7.6	92.4
30～39歳	6.9	93.1
40～49歳	7.0	93.0
50～59歳	7.3	92.7
60～69歳	8.9	91.1
70歳以上	11.0	89.0
全体	7.7	92.3

■都道府県別

	(%)		
順位	都道府県別	はい	いいえ
1	沖縄県	20.3	79.7
2	宮城県	19.7	80.3
3	大分県	14.7	85.3
4	栃木県	12.8	87.2
5	群馬県	11.6	88.4
6	佐賀県	11.5	88.5
7	奈良県	11.3	88.8
8	北海道	10.9	89.1
9	兵庫県	9.4	90.6
10	山口県	9.3	90.7
23	大阪府	7.8	92.2
32	東京都	6.9	93.1
37	神奈川県	5.6	94.4

「沖縄県」が1位

■具体的に考えたこと、計画を見直したこと

<回答が多かった事例>

- 「生活費の節約」「預貯金」「定期的な運動」「食生活の見直し」

<その他>

【金銭面】

- 「公的年金の繰り上げ受給」「個人年金保険の受け取り方を見直し」
- 「年金保険への加入」
- 「積み立てNISAやiDeCoへの加入」
- 「安定した企業での勤務」
- 「自分が勤めている会社の退職金制度の確認」
- 「相続対策」
- 「介護費用の見直し」

【コロナ対策】

- 「家のリフォームにより個人の部屋を持つ」
- 「住む場所を見直す」「田舎に移住」
- 「医療保険への加入」

以上